

## マーケットの動き（2026年1月5日～1月9日）

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。3日に米国がベネズエラ大統領を拘束し、同国の石油インフラを修復する方針を示したことなどを受け、石油関連株を中心に買いが入りました。さらに、週末に発表された12月の米雇用統計が労働市場の底堅さを示したことで、景気敏感株を中心に買いが広がり、S&P500種株価指数とNYダウは最高値を更新しました。欧州株式市場は、前週末比で上昇しました。

## 投資環境見通し（2026年1月）

## 外国株式相場は、米国、欧州ともに底堅く推移

企業業績については、米国関税政策の影響は限定的で、底堅く推移するとみられます。米国株式相場は、これまでの上昇から過熱感が意識されるものの、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利下げ姿勢は続くとの見方に支えられ、底堅く推移するとみています。欧州株式相場は、良好な所得環境が景気を支える中、防衛費増額やドイツの拡張的な財政政策に対する根強い期待もあり、米国株式相場と同様に底堅く推移するとみています。

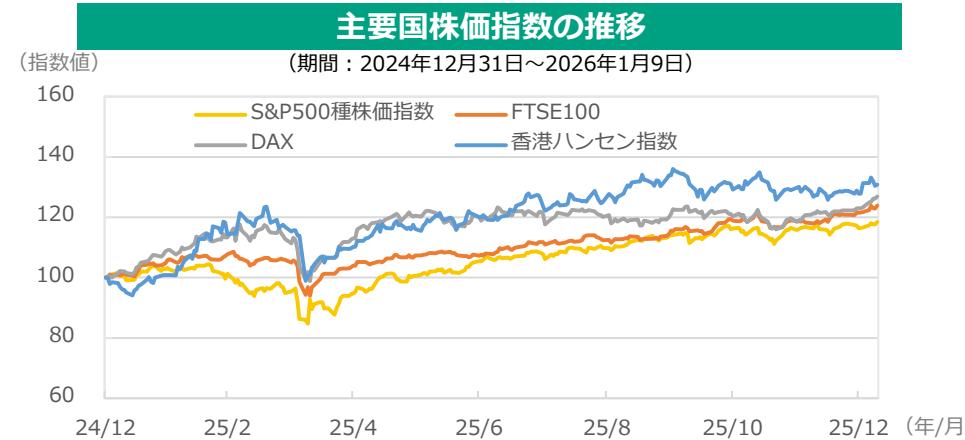
	1月9日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	6,966.28	1.57%	1.84%	11.22%	17.71%
NYダウ	49,504.07	2.32%	4.09%	11.35%	16.11%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202601\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202601_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>



※2024年12月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成